



西之表市

No.115

議会だより



▲種子島さとうきび生産者振興大会現地調査 (P 3 に詳細掲載)

目次

- P2 ……主な議案説明
- P3 ……意見書提出
- P4 ……委員会審査報告
- P6 ……一般質問
- P10 ……所管事務調査報告
- P11 ……議決結果一覧
議長会務報告
- P12 ……次回定例会予定

平成30年第3回定例会 会期日程

(9月6日～21日)

9月6日	定例会開会
9月10日・11日	一般質問
9月13日・14日	予算特別委員会
9月18日	産業厚生委員会
	総務文教委員会
9月20日	各特別委員会
9月21日	定例会閉会

議案全14件を原案のとおり可決・同意

請願・陳情書も採択

平成30年第3回定例会

【会 期】 9月6日（9月21日）

【議案等】 議案14件 請願書1件 陳情書1件

※議案第52号において修正案が提出されたが、議案14件すべて原案のとおり可決・同意された。また、請願・陳情書についてもそれぞれ採択された。

最終本会議において 修正案を提出

最終本会議で予算特別委員長から議案第52号平成30年度一般会計補正予算（第2号）の審査の結果、賛成多数で可決となったことを報告された。

これに対し、長野広美議員ほか1名から、総務管理費の一般管理費に委託料として計上されている姉妹都市・友好都市記念事業であるポルトガルのヴィラ・ド・ビスポ市市民訪問について、その目的、内容が不明瞭かつ不十分であり、予定されている児童・生徒の同行についても安全性や健康面での配慮について不安が残るとし、修正案が提出された。

審議の結果、姉妹都市・友好都市25周年記念事業というところで、児童、生徒も含め、交流を深めるいい機会となるのではないかなどの意見や、安全性や健康面での配慮についても、今後、担当課が十分に協議していくとの判断から賛成多数で原案のとおり可決となった。

人事案件

公平委員会委員の選任 ・人権擁護委員候補者の推薦

現在委員の任期満了に伴い、公平委員に外園哲郎氏を再任し、人権擁護委員候補者として、岸本光氏を新たに推薦しようとするもので、原案に同意した。

西之表市教育長を任命

現教育長の太平和男氏が、平成30年10月24日付けで任期満了となるため同氏を再任しようとするもので、原案に同意した。

消防ポンプ車売買契約

老朽化した水槽付消防ポンプ車を更新するため、議会の議決を求めるもので、原案の通り可決された。

請願書

請願名

商工業の振興対策についての請願書

提出者

西之表市商工会会長 福井 清信 氏

請願の趣旨

本市商店街は、人口減少や入込み客の低迷、島外資本の大型商業施設の進出などにより、衰退が進み、商店街の機能が消滅す

ることが懸念される。商工会としても、商工業の振興活性化に取り組んでいるが、今年度は、市民からの要望も多い種子島通貨（プレミアム商品券）発行事業や住宅改修環境整備（住宅リフォーム）事業が、予算に計上されていない。再度、予算化へ向けての検討を求めるもの。

結果「採 択」（全会一致）

陳情書

陳情名

さとうきび生産回復対策に関する陳情について

提出者

種子島地区さとうきび振興会連絡協議会会長 日高 健次郎 氏ほか2名

陳情の趣旨

さとうきびは島を支える重要な基幹作物であるが、生産者の高齢化による離農や担い手不足によって近年のさとうきび生産は危機的状況に陥っている。農家の取得も大幅に落ち込み、さとうきび増産基金事業の継続自体が困難な状況となっていることから、これまでに以上の支援を要望するもの。

結果「採 択」（全会一致）

意見書の提出

本会議において、全会一致で可決され、農林水産大臣、財務大臣宛てに意見書を送付した。（詳細は、P3）

さとうきび生産対策に関する意見書

さとうきびは島を支える重要な基幹作物であり、栽培農家はもとより関連産業にも大きな経済効果をもたらしています。

生産者の高齢化による離農や担い手不足によって栽培農家は減少し、それに伴い栽培面積も減少しています。

また、立地条件の悪い圃場には大型機械が入れず耕作放棄地となるなど、近年のさとうきび生産は危機的な状況に陥っています。

そこで、関係機関が一体となり、作業機械による省力化の推進、精脱葉施設の導入、法人化の推進のなどありとあらゆる手を尽くし単収向上並びに栽培面積の維持・拡大に努めていますが、近年の低単収に歯止めがかからず、生産意欲の減退にも繋がっております。

29/30年期については、4回の台風被害により過去最低の単収となり、糖度においても過去最低から2番目に低い糖度（11.02度）となったため、農家の所得は大幅に落ち込みました。

このような中、さとうきび増産基金事業の活用により当年度・次年度の対策を講じてるものの、さとうきび増産プロジェクト計画面積の2,700haには及ばず、また、製糖工場の「新光糖業株式会社」についても、過去最低の10,778tの産糖量となり、大幅な赤字が見込まれるため、今後の事業継続についても懸念されています。

よって、国会及び政府におかれましては、今年度産のさとうきび生産対策にこれまで以上の支援をお願いしたく、下記の措置を講じられるよう要望します。

記

- 1、30/31年期の栽培面積もさらに減少することが予想されることから、生産者が意欲をもって生産を続けられるように、生産性向上支援事業（特別対策）の農家負担部分の更なる充実を図ること。
- 2、生産コストが向上していることから、原料代及び交付金の値上げを行うこと。
- 3、機械化収穫体系に対応した品種の転換に伴う、種苗の供給や助成を行うこと。
- 4、生分解性マルチの試験・普及拡大のため、資材の助成を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月21日

鹿児島県西之表市議会

種子島さとうきび生産者振興大会

9月7日（金）に中種子町の種子島こりーなで行われた種子島さとうきび生産者振興大会に、西之表市議会全議員で参加した。新光糖業株式会社森永社長、鹿児島県農業開発総合センター熊毛支場山根主任研究員の講演や、女洲さとうきび生産組合浦島組合長による取り組み紹介が行われ、さとうきび生産の厳しい現状や生産回復のための対策等、今後のさとうきび生産を考える上で、とても貴重な話を聞くことができた。また、現地調査も行い、新品種の開発等についての調査も行った。西之表市議会としても、さとうきびは、種子島、そして西之表の基幹作物であるので生産回復に向け、要望活動等精力的に活動していきたい。



委員会審査報告

予算特別委員会

【委員構成】

※議長を除く全15名の議員で構成。

委員長

小倉 初男

副委員長

鯨島 市憲

予算

平成30年度一般会計補正予算

(第2号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億9千928万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ105億1千574万2千円とするもの。

【歳入】

地方交付税は、平成30年度普通交付税確定により増額するもの。

災害復旧費国庫負担金は、梅雨前線豪雨による道路2件、河川1件の現年発生災害復旧事業に伴い追加するもの。

特別会計繰入金は、介護保険特別会計が主なもので、前年度実績確定による繰出金を返納するもの。

基金繰入金は、一般財源で対応可能となったため減額するもの。

繰越金は、前年度繰越金の確定に伴い追加するもの。

【歳出】

総務費は、姉妹都市・友好都市記念事

業費として特別旅費の組替えと事業費を増加するもの。積立金は、財政調整基金へ積立てるもの。

企画費は、種子島幹線バスの厳しい運営に対し、1市2町で運行補助を行うもの。

民生費は、地域包括支援体制整備事業が補助事業として採択され、新規で計上したもの。

障害者福祉費は、障害者自立支援給付事業において、サービス利用者及び、相談件数の増加並びに、法改正による給付対象者の拡大に対処するもの。

教育費は、市立図書館駐車場に太陽光電池式の街路灯を1基設置するもの。

災害復旧費は、先の梅雨前線豪雨による災害で、道路2件、河川1件の災害復旧工事に伴うもの。

【その他の予算】

○平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

○平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

○平成30年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)

○平成30年度水道事業会計補正予算(第2号)

○平成30年度西之表市交通災害共済事業特別会計補正予算(第1号)

◆主な歳出予算◆ (数字は補正予算)

○種子島幹線バス対策 158万円

・種子島の国道を縦断する幹線バス(西之表～南種子)の運行事業者へ1市2町による運行補助。

○地域包括支援体制整備事業(地域力強化推進事業) 440万8千円

・地域課題抽出のための支援ツールの助成等、その取り組みに対する支援を行うとともに、社会資源の活用や課題解決に向けた取り組みへの支援も行うもの。

○市立図書館再エネ街路灯整備事業 199万3千円

・鹿児島県地域を照らす再生可能エネルギー事業に伴い市立図書館駐車場入り口付近の街路灯を1基設置するもの。

○農地・農業用施設災害復旧工事 400万円

・6月の梅雨前線豪雨により被害を受けた排水路(古田地区広掛)の復旧工事。

○公共土木施設災害復旧工事 3,200万円

・6月の梅雨前線豪雨により被害を受けた道路2件(西俣奇妙線)、河川1件(浅川川)の復旧工事。

総務文教委員会

【委員構成】

委員長 鮫島 市憲
副委員長 河本 幸男
委員 下川 和博
永田 章
中野 周
田添 辰郎
生田 直弘
橋口 美幸

条例

西之表市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地域再生法の改正に伴い、東京23区にある本社機能を本市地方活力向上地域に移転する場合における固定資産税の特別措置を変更するもので、課税免除を追加し、不均一課税の税率を改めたもの。

所管事務調査

南種子西之表間の公共路線バスについて

現在、島内路線バスは、大和バスが運行している。経営状況は厳しく、平成29年度より1市2町で補助を行い、運行を続けている状態である。

る。今回、9月補正において、補助金の追加計上があったことから、現状や補助制度の内容について、担当課へ聴き取りを行った。現状は、一日当たりの輸送量が10・8人、平均乗車密度は、1・8人となっており、国の補助制度を受ける基準を満たしておらず、担当課としては、種子島全体の広域的な交通形態を考えるべく、1市2町による協議会の組織や、計画の策定等の検討に向けて、取り組みを進めていくことが必要だと考えているとのことであった。西之表市から種子島中央高校へ通っている生徒や市民はもちろん、観光客にとっても、路線バスの維持は重要なことであることから、委員会では、国への要望等も含め、補助制度の内容について、今後も協議、検討していく。

姉妹都市・友好都市記念事業ポルトガルヴィラ・ド・ビスポ市
市民訪問旅行について

9月補正において、旅費から委託料へ組み換え及び増額補正がなされたことから、事業内容や進捗状況について、担当課に確認を行った。今回の訪問は、姉妹都市盟約25周年ということと、新たな企画を加えながら、今まで以上に交流が発展していく事業内容にしたいとの説明があった。

産業厚生委員会

【委員構成】

委員長 木原 幸四
副委員長 渡辺 道大
委員 小倉 初男
竹下 秀樹
川村 孝則
和田 香穂里
橋口 好文
長野 広美

条例

西之表市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、条例を改正するもので、代替保育における連携施設の緩和や食事提供の外部搬入の容認範囲拡大、自園調理の原則の猶予期間を延長するもの。

西之表市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

介護保険法の一部改正に伴い、これまで県の条例によって定められていた指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を市町村条例

によって定めるもの。基本的には、国の基準に沿って定めるものであるが、指定居宅介護支援事業者に義務付けられている記録の整備については、その保存期間が2年間である国の基準に対し、本条例では、5年間と独自の基準を設けている。

現地調査

6月の梅雨前線豪雨により被害を受けた排水路（古田広掛）、道路2件（西俣奇妙線）、河川1件について現地調査を行った。



▲西俣奇妙線

一般質問 ここが聞きたい！市政を問う

一般質問



橋口 好文 議員

農業振興について

問 さとうきび栽培について、平成30年～31年期の栽培面積は何haであるか。また、生産農家からさとうきびの交付金を引き上げてほしいとの要望があがっているが、現在の交付金額について、どのように考えているか。

答 平成30年～31年期の栽培面積については、前年度比で約31ha減少し、566haの見込みであると報告を受けている。このうち新植については、生産者の協力もいただきながら、約20ha増加した約190haを新植する予定である。さとうきびの交付金の増額については、国会議員を通して国への要望を続けているが、長年要望が受け入れられてない。この制度自体が古いもので、昨今の生産者の生産費が時代の実態に合わなくなってきた。制度の

見直しも含め、生産者が意欲を持って取り組めるよう生産可能な水準の確保が必要だと考える。（市長）
その他の質問
「都市公園の管理状況について」景観づくりについて」



小倉 初男 議員

漁業振興について

問 市長は漁業振興についてどのような考え方を持っているのか。

答 本市の漁業を取り巻く環境は、漁獲量の減少や魚価の不安定、燃料費の高騰など極めて厳しい状況下にある。そのような状況の中で、現場の声を直に聞き、漁業関係者との連携をより深め、水産業の推進を図るため、今年度から水産係を新設したところである。（市長）

問 サメの漁業被害が深刻で、漁業関係者は大きな打撃を受けている。現在、どのような方法で駆除しているのか。また、国や県に専門業者を雇う予算要求はできないか。

答 現在サメの駆除は、各漁業集落ごとに行っており、昨年度は289

尾捕獲した。効率的な漁具・漁法やその対策については、今後も事業者や研究機関等の意見も聞きながら検討していく。（農林水産課）

公共施設のバリアフリー化について

問 浦田海水浴場に障害者用通路を整備して頂きたいが、県の魅力ある観光地づくり事業の計画の中に入っているのか。

答 車椅子の方でも施設周辺や砂浜付近まで自由に移動することができ、遊歩道の整備を県に対して要望している段階である。（経済観光課）



和田 香穂里 議員

「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」及び地域の高齢者支援について

問 認知症の本人や家族等の当事者を孤立させない取り組みとして、認知症カフェを現在の場所以外で開催する予定はないか。

答 大字地域での開催に向けて協議中である。高齢者支援協議会やサロン活動関係者の意見も聞き、

活動の輪が広がるよう取り組む予定である。（高齢者支援課）

馬毛島問題について、現況と6月の一般質問の答弁並びに市民団体主催による「市民と馬毛島を語る会」での発言を問う

問 市民団体主催「市長と馬毛島を語る会」での発言「地権者が国の方が交渉しやすい。国が買収した方がいい」との根拠は何か。

答 市長は、市民の生命・財産を守るために発言できると認識している。市民を代表する市長として国と話をすることが適当であると考えている。（市長）

中種子町における日米共同訓練計画と、6月議会における自衛隊訓練受け入れについての答弁を問う

問 中種子町での日米共同訓練計画は、演習場以外の陸上では史上初で、相手の米海兵隊は沖縄で数多くの事件を起こしている。その他様々な問題点を把握しているのか。静観するだけでいいのか。

答 住民への周知や安全確保、騒音の影響、自然環境の保全等の問題が生じる。隣の自治体、国の考えも聴きたい。その都度、適切な対応を考える。正式決定まで何もしないということではない。（市長）



渡辺 道大 議員

馬毛島問題について

問 先日、馬毛島の所有者が、埼玉県建設会社破産を申し立てられた。債権額3億7千万円を供託し、申し立てを取り下げたものの、新たに2社から申し立てがあり、所有者の経営が厳しいことが伺える。今後、事態は激動すると予想するが、市長の見解を問う。

答 新たに2件の破産申し立てがあり、保全管理命令が継続中である。現在、司法において審議中なので、具体的な対応については差し控えたいが、市としては、馬毛島にふさわしい利活用ができるよう努力は続けていく。

問 馬毛島を所有している会社が倒産した場合、馬毛島の土地や権利が、競売にかけられる可能性がある。もし馬毛島が競売にかけられた場合、馬毛島小・中学校跡地を避難所に指定し、私有地を所有している本市にも声がかかる可能性がある。その場合、市長はどのような対応を考えているのか。

（市長）

答 競売については、「破産手続き開始」が決定された後の可能性であり、関心はあるが、審議の推移を見守る段階である。推測に基づく具体的な提案については控えたい。

（市長）

その他の質問

「市街地巡回バスわかさ姫やどんがタクシー停留所のベンチ・屋根の設置について。」「高速船運賃や運航の改正について。」



橋口 美幸 議員

公的機関で働く人たちの労働環境改善と住民サービス向上に向けて

問 労働者の実態を顧みない経済優先の経費削減政策は、本市でも、労働者への健康破壊や業務の停滞、業務の遅れ等住民サービスの低下にも繋がりがかねない事態となっている。まず第一に、保育士や保健師、ケアマネジャー、土木技師などの専門職分野について、若い人材を雇用し、大切に育成していくべきである。そういった課題を解決していく上で、実態の把握をする

（市長）

ために、本市の職員の正規、非正規、パート等、全ての職員の有給休暇取得率についての現状と当局の認識について伺いたい。また、現状の人員での住民サービスの認識についても当局の見解を問う。

答 昨年度の有給休暇取得率は、正規職員が25・2％、非正規職員が64％、パート職員が36％であり、認識としては、年休の繰り越しが増える傾向の状況から、休暇が取れないのが実態である。住民サービスについては、予算に限りがあるが、サービスを落とさない様な職場環境整備に努めている。

（総務課）

問 非正規職員の処遇改善について、賃金の底上げが必要だと思うが、市長は、どのような認識を持っているのか。

答 職員の労働環境改善については、正規職員、臨時職員、パート職員、全ての職員に対し、より良い環境を整える努力をしていきたい。

（市長）

その他の質問
「まちづくり公社の運営状況の現状と今後の方向性を問う。」「生活保護行政の現状認識と改善に向けて。」「馬毛島問題と中種子町で初めて計画されている米海兵隊との共同訓練の認識を問う。」



鮫島 市憲 議員

学校施設及び運営予算並びに、学校と地域が一体となって取り組む、青少年に係る社会教育予算の充実と拡大を求めるために見解を問う

問 学校施設及び学校運営予算が少なくと感じるが市長の見解を問う。

答 決算面では、平成27年以降増加の傾向にあるが、全体的に7・4％程度で十分とは言えない。今後も努力していきたい。

（市長）

問 青少年の健全育成は、学校教育と地域、社会教育が各々の領域をフルに活かした環境整備が不可欠である。これらを解消するため予算は十分とは言えない現状である。市長の見解を問う。

答 青少年育成事業では様々な事業を開催している。引き続き、地域や家庭及び学校教育委員会が連携した施策を展開していきたい。

（市長）
（次ページに続く）

農業経営の安定化を図り安心して生活できる農家・農村の構築を図る観点から、農業専門職員の採用を強化すべきと考えるが見解を問う。

問 高齢化の進む農業、農村の経営は厳しい局面に向き合っている。行政自らが農業専門普及員等資格を有する職員の採用を強化し、県と連携した技術指導や新規作物の導入、また、農家経営の在り方等、農家のスタイルに適合した将来像を目指す農家・農業の振興を図ることが不可欠である。農業専門職員採用に向けた当局の見解を問う。

答 4名の農業技師を配置している。高齢化の進む農村経営は厳しい局面にあり諸施策を展開すると共に、専門職員の採用に向けて今後検討したい。
(農林水産課)

その他の質問
「職員等の資質向上を高める島内外の計画的な研修機会の構築について。」
「島外からの修学旅行で種子島を訪れる小・中学校及び高等学校の受入状況と今後の取り組みについて。」



長野 広美 議員

平成30年度ふるさと納税事業の拡大について

問 昨年度のふるさと納の寄付額は、全国では、3,653億円と前年対比で28%増と急増した。本市の現状と、本年度目標としている総額2億円となれば本市の財源確保だけでなく、地元事業者の売上拡大にも寄与するので、職員配置の増強や本市独自の返礼品の充実など具体的な対策を伺いたい。

答 本市の今年度実績は、8月末現在で、申請件数713件、寄付額1,040万5千円と前年度の同時期と比べ、申請件数が36件、寄付額が151万8千円の増となっている。具体的な取り組みについては、今年度より、担当課を地域支援課から経済観光課に移管し、専任職員を配置している。今後は、インターネットサイトの拡大など広報戦略の充実、事業者対象の研修会や特産品協会等との連携による商品開発など返礼品の充実を図る予定である。
(経済観光課)

公共施設の計画的整備について

問 本市の公共施設等総合管理計画が昨年策定されましたが、老朽化など各施設の維持管理が個別に行われている。ホームページ上での掲載内容の見直しを含め、図書館と子育て支援センターが入る旧合同庁舎の建物の老朽化と駐車場整備に対してどのように対応しているのか。

答 現在、各課からヒアリング調査を行っており、それぞれの所管課が施設を管理している。特に旧合同庁舎の駐車場は狭く、老朽化も深刻で、安全性の問題もあるので、現在使用されていない倉庫は廃棄し、駐車場のスペースを拡大していく予定である。今後も安全上の対策が必要と考え、関係課との調整を図っていく。
(財産管理課)

その他の質問
「国際交流事業の充実について」「行政評価の仕組みづくりについて」



学校施設の整備（種子島中学校プールの新設、エアコン等の熱中症対策）について

問 要望している中学校プールの新設及び教室へのエアコン設置の検討状況について報告を求めらる。

答 2019年から2022年度の実施計画に計上した。全庁的な予算調整をし、本年10月下旬の経営会議で決定される。
(教育委員会総務課)

企業版ふるさと納税の活用と種子島の観光面の広報や特産品の拡大

問 企業側にも税制面のメリットがあり、当市にとっても国や県の財源に依存せずに事業が実施できる恩恵がある。他の自治体は、既に始めている自治体も多い。本市においても能動的な活用を要望する。

答 協力企業から具体的な寄付の話もあるため、今年度から取り組んでいく予定である。事業検討を早急に進めていく。(市長)

(次ページに続く)



生田 直弘 議員

国保財政の健全化に資する保険者努力支援制度の事業推進について

問 同制度内の評価項目の目標を分かりやすく「日本一」に設定してはどうか。より多くの特別交付金を受けとることができ、安易に国保税を引き上げずに済む。また、目指す過程で市民の健康寿命が延び、地域医療を残すことにもつながると考える。

答 国保制度の維持、経営に向けての提案として日本一を目指すということについて、まず、どのような方向で日本一を目指すのかというところを考えていきたい。その中で、本市の医療水準を高める上で、研究機関との連携や医師の派遣、健康寿命の向上について検討していきたい。そういう意味では、特定健診受診率の日本一などが目標として適しているのではないかと考える。(市長)

その他の質問

「地域産業振興に資する企業誘致について」



田添 辰郎 議員

商店街の活性化について

問 商店街活性化の長期展望についてどのように考えているか。

答 歴史と国産色豊かな港町再生を図り、中心市街地、商店街の活性化に努めていく。(経済観光課)

問 大店法改正に伴い、商店街は衰退の一途である。国道の入れ替え等対策について検討すべきではないだろうか。

答 これまでも検討しており、昨年度の実施した鹿児島大学の基礎調査時には、社会的実験として一方通行も提案されている。県、国とも協議し検討していきたい。(経済観光課)

問 巡回バスの乗降について、高齢者の方々の利用が多いことも考え雨天時だけでも停留所ではなくご自宅付近での乗降を検討してほしい。

答 利用者の方からも要望をいただいているが、複数の利用者が同時に利用していく中で、特定の利用者への配慮というのは厳しい面がある。ただ、その中でも、高齢者の方々等の

要望に少しでも応えられるような方法は検討していきたい。(企画課)

学校の施設整備と学力向上について

問 教室のエアコン設置にかかる費用はどのくらいか。また、中学校プールの新設については、市民プールでの代用が可能であることや使用頻度等を考えると必要性があまり感じられないが、どのように考えているのか。

答 エアコンの設置については、一教室設置するのに大体150万円程かかると伺っている。中学校プールの新設については、学校の授業だけでなく様々な活用ができることや中学校の授業の日程調整が非常に難しいことから市民プールでの代用ではなく新設する方向で検討している。(教育委員会総務課)

馬毛島の自衛隊施設・FCLP訓練について

問 馬毛島の自衛隊施設・FCLP訓練それぞれの概要について防衛省の説明に沿って伺いたい。

答 自衛隊施設とFCLP訓練は、あくまでセットであり、それぞれの概要については、明らかにしていない。(市長)

議会報編集委員会

いろいろなご意見を
お聞かせください！

108号(平成29年3月27日発行)より議会報編集委員会のメンバーが一新し、日々、試行錯誤しながら、皆様が読みたくなる「議会だより」を目指し、作成に努めています。

【委員構成】

編集長 小倉 初男
委員 下川 和博
和田 香穂里
河本 幸男
渡辺 道大
橋口 美幸



▲前列左から和田委員、橋口委員、小倉編集長
下川委員、後ろ左から渡辺委員、河本委員



産業厚生委員会所管事務調査

委員長 木原 幸四

平成30年7月18日から20日にかけて、宮崎県新富町、宮崎県串間市、鹿児島県志布志市を訪問し、それぞれ「持続可能な地域経済振興の手法について」「6次産業化・農商工連携による地域ブランドの創出について」「ふるさと納税の強化と事業展開について」という調査項目のもと所管事務調査を行った。

宮崎県新富町では、地域の人口減少をくい止め、地域経済の活性化に、行政機関になかったスピード感を持って取り組んでいる「こゆ財団」という地域商社を訪問し、調査を行った。「こゆ財団」は、旧観光協会を解体し、法人化し設立したもので、行政と民間とが連携し、行政だけではできなかった取り組みを行っている。「100年先まで持続可能な地域」というのを目標に、主に特産品のブランディングや販路開拓事業、ふるさと納税の運営を行っている。また、人材育成事業も精力的に行い、地域性に適した農業分野等の人材育成塾も開講し、年間で500人もの受講者が訪れている。さらに、商店街の再興を目的に毎月第3日曜日には、商店街で「朝市」を開催し、町民の交流の場の確保や雇用の創出にも取り組んでいるとのことであった。

宮崎県串間市は、人口1万8千人と本市と同等の人口規模であるが、様々

な事業を活用し、6次産業化の強化等農業振興に努めている。数多くの企業や団体と連携し、市独自の特産品の開発や販路拡大に努めている。特に、市内に埋もれている観光資源を活用した「オリジナルブランド創出」という事業に力を入れ、素材を生かした6次産業化に取り組んでいるとのことであった。

鹿児島県志布志市では、ふるさと納税の取り組み強化、事業運営についての調査を行った。志布志市は、ふるさと納税の寄付件数、寄付額ともに平成29年度において県内1位という実績を残している。その主な要因は、専門家を活用した各インターネットサイトでの露出強化、都市圏での各種イベントへの参加、寄付者との継続的なつながりの確保があげられる。専門家を活用することで、行政機関にはなかった視点での商品開発や宣伝に力を入れることができていた。今年度からは、東京にも事務所を設置しているとのことであった。



議会運営委員会所管事務調査

委員長 下川 和博

平成30年7月25日から27日にかけて副議長を含めた委員7名、事務局1名の計8名で、福岡県宗像市、熊本県八代市、鹿児島県薩摩川内市において、決算委員会、議会の公開、一般質問についてを主なテーマとして、所管事務調査を行った。

福岡県宗像市では、決算委員会において、二つの特別委員会を設けており、一般会計の予算・決算、企業及び特別会計の予算・決算をそれぞれ分けて審査している。各決算委員会は、9月定例会中にそれぞれ2日間行い、補正予算審査も同時に行い、9月定例会最終本会議で採決をとっている。議会の公開については、市民の議会への関心を高め、議会の活性化を図るため本会議及び委員会をリアルタイムで放映している。また、録画での放映も行っており、平成13年に議会議中継システムを導入して以降、地域イントラネットとインターネットを利用し、ライブ映像と録画映像での議会放映を行っているとのことであった。

熊本県八代市では、決算委員会において、一般・特別会計は、9月定例会最終日に上程して、閉会中各常任委員会会で審査し、企業会計は、9月定例会開会日に上程し、会期中に所管常任委員会会で審査し、12月定例会開会日に採決をとるという形式をとっている。議

会の公開については、本市同様、市議会だよりを年4回発行し、ホームページにも掲載している。中継システムについては、本庁舎内のテレビやインターネットで、本会議と各委員会を生中継している。また、録画での放映も行っており、不適切な発言については、編集して無音にして放映しているとのことであった。

鹿児島県薩摩川内市では、一般質問において、平成16年の合併後、議員の質問時間を35分とし、平成22年9月定例会より9月と3月に代表質問制度を導入している。質問時間を45分に出来ないかとの意見もあったが、会議時間の延長や会議日程の見直しが必要であるとのことから見送られ、現在の形式となっている。1議員あたり平均で、質問と答弁時間を合わせ約60分とのことである。議会の公開については、県下市議会中、唯一委員会中継を実施している。また、唯一委員会の議事録を公開しており、ホームページで公開しているとのことであった。



平成 30 年第 3 回定例会 議決結果一覧

議案名	関連 ページ	議 員 名																議決結果
		下川 和博	小倉 初男	竹下 秀樹	木原 幸四	川村 孝則	和田 香穂里	河本 幸男	鮫島 市憲	中野 周	田添 辰郎	生田 直弘	橋口 好文	長野 広美	渡辺 道大	橋口 美幸	永田 章	
議案第 45 号 西之表市公平委員会委員の選任について	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意 (賛 15 否 0)
議案第 46 号 西之表市教育委員会教育長の任命について	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意 (賛 15 否 0)
議案第 47 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意 (賛 15 否 0)
議案第 48 号 水槽付消防ポンプ車売買契約について	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決 (賛 15 否 0)
議案第 49 号 西之表市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決 (賛 15 否 0)
議案第 50 号 西之表市家庭的保育事業等の事業に人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	－	原案可決 (賛 13 否 2)
議案第 51 号 西之表市指定居宅介護支援等の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	－	原案可決 (賛 13 否 2)
議案第 52 号 平成 30 年度西之表市一般会計補正予算（第 2 号）	2・4	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	－	原案可決 (賛 9 否 6)
議案第 53 号 平成 30 年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決 (賛 15 否 0)
議案第 54 号 平成 30 年度西之表市交通災害共済事業特別会計補正予算（第 1 号）	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決 (賛 15 否 0)
議案第 55 号 平成 30 年度西之表市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決 (賛 15 否 0)
議案第 56 号 平成 30 年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第 2 号）	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決 (賛 15 否 0)
議案第 57 号 平成 30 年度西之表市水道事業会計補正予算（第 2 号）	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決 (賛 15 否 0)
議案第 58 号 さとうきび生産対策に関する意見書の提出について	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決 (賛 15 否 0)
陳情第 6 号 さとうきび生産回復対策に関する陳情について	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	採択 (賛 15 否 0)
請願第 9 号 商工業の振興対策についての請願書	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	採択 (賛 15 否 0)

※永田章議員は、議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。○は賛成、●は反対。

議 長 会 務 報 告

7 月
○夏の交通安全事故防止運動及び地域安全運動
○2018 志布志みなと祭り

○平成 30 年度種子島糖業振興会総会
○平成 30 年度さとうきび価格対策協議会

8 月
○第 8 回種子島屋久島議会議員大会議長会臨時総会
○平成 30 年度市町村政研修会

○全国離島交流中学生野球大会開会セレモニー及び歓迎レセプション
○第 40 回南種子町ロケット祭

○第 49 回種子島鉄砲まつり歓迎レセプション
○種子島鉄砲まつり出席議会関係者との交流会

○第 49 回種子島鉄砲まつり
○畜魂祭並びに第 105 回西之表市畜産共進会

9 月
○熊毛地区畜産共進会
○鹿児島県立種子島高等学校体育祭

○種子島中学校体育大会
○第 72 回県民体育大会
○101 歳敬老訪問

○米寿を祝う会

西之表市議会のホームページでは、次のような情報を掲載しています。ご覧ください。

議会の仕組み

議員名簿

議会行事記録

(どんな会議に出席したか)

議会の日程

(いつ議会があるのか、あったのか)

一般質問通告書

(誰がどんな質問をするのか、したのか)

本会議議事録

議会だよりバックナンバー など

URL

<http://www.city.nishinoomote.kagoshima.jp>

※議会の情報は、市のホームページにアクセスすると画面左下に「西之表市議会」とありますので、そこをクリックしてください。

次回 平成 30 年第 4 回定例会 会期日程予定

- 11月 21日 定例会招集告示
22日 請願・陳情締め切り
(正午まで)
26日 議会運営委員会
28日 開会、本会議
30日 本会議(一般質問)
- 12月 3・4日 本会議(一般質問)
5日 産業厚生委員会
6日 総務文教委員会
7日 各常任委員会
10・11日 予算特別委員会
12日 各特別委員会、議会運営委員会
14日 最終本会議(議案等審議、表決、閉会)

※都合により変更になる場合があります。

～防災無線で議会日程をお知らせ～

○議会の日程と合わせて、一般質問の内容を質問者ごとに一問ずつ放送しています。
放送時間は、本会議の前日午後 6 時 40 分と当日午前 7 時 20 分です。
是非ご確認ください。

議会を傍聴してみませんか？

市議会の定例会は 3 月・6 月・9 月・12 月の年 4 回開催され、次回は 11 月 28 日開会の予定です。

傍聴者受付簿に住所、氏名、年齢を記入するだけで傍聴できますので、どうぞお越しください。

※総合窓口に向かって右側のエレベーター(若しくは総合窓口左の「西之表市議会」看板のある階段)で 3 階傍聴席へお越しください。



編集後記

暦の上では 11 月となり、平成 30 年度の定例会も第 3 回を終了いたしました。本会議の初日に北海道胆振東部地震が発生し、自然災害の怖さをまざまざと見せつけられました。本市においても台風 24 号の直撃で大きな被害を受けました。停電も続き、その復旧作業や倒木の伐採など地域の団体・消防団がかけまわり高齢者の方々から「ありがたい。ありがたい」と感謝の声があちこちで聞かれました。年を明けてから姉妹都市・友好都市記念事業であるポルトガル訪問も計画されています。事業内容については、修正案が出され、慎重に議論されました。今後、担当課で十分に協議し、目的達成に努めていただきたいと思います。市政 60 周年記念式典も台風の為中止となりましたが節目の年としての区切りを付け今後とも行政・市民一体となつて知恵を出しながら頑張ってくださいませう。



迎える我が街
これからだ
(初男)

発行／西之表市議会 編集／議会報編集委員会 発行責任者：西之表市議会 議長 永田 章

〒 891-3193 鹿児島県西之表市西之表 7612 番地

TEL 0997-22-1111(内線 351) FAX 0997-22-0295 E-mail : gikai@city.nishinoomote.lg.jp